



関西広域連合によるウクライナ支援の取組について(案)



関西広域連合

ロシア軍による主権国家ウクライナへの侵略は重大な国際法違反であり、断じて容認できない。
日本はウクライナと共にあり、阪神・淡路大震災や東日本大震災からの「創造的復興」というレガシー（遺産）を活かし、カウンターパート（対口）による支援等、日本への避難民のみならずウクライナ本国民への「支援の輪」を関西広域連合としても拡げていきたい。

既に各構成府県市において進められている取組について、各団体の支援内容の共有・連携調整・共同発信を行うことにより、関西が連携して、現地のニーズに応じた幅広い支援に取り組む。

1 各構成府県市による支援内容の共有・連携調整

→ 広域防災局が事務局となり、各構成府県市の支援内容の取りまとめ、連合委員会での情報共有・連携調整を実施

2 支援内容の共同発信（別紙参照）

→ 広域連合HPにおける特設ページの作成

3 構成府県市で実施・検討されている取組（今後共同・連携実施の候補となり得るもの）

- 兵庫県では、阪神・淡路大震災からの「創造的復興」の理念を活かした支援のための検討会を設置するとともに、先行的に、県立福祉のまちづくり研究所と連携した、義肢装具・リハビリ等のワーキングチームを設置し、支援プロジェクトを進める予定
- 徳島県では、ウクライナ国立歴史公文書館への古文書修復紙（阿波和紙）支援を実施
- 京都市では、姉妹提携先のキーウ市長と京都市長とのオンライン会談を行うとともに、キーウ市への寄付金の送付、防寒対策物資支援を実施
- 大阪市では、友好協力関係構築に関する覚書を締結しているドニプロ市に対して、救急車等の車両6台の無償提供を実施

1

【参考】兵庫県の取組

「創造的復興」の理念を活かしたウクライナ支援検討会の設置

阪神・淡路大震災からの復旧・復興の過程で生まれた“よりよい社会をつくる”という「創造的復興」の理念を、現在、戦時下にあるウクライナのまちの復興や地域社会の再生などに活かし、兵庫だからこそできる提言等を行うため、有識者等による検討会を設置する。

作成年月日	令和5年3月29日
作成部局	危機管理部 防災支援課

1 委員・ゲストスピーカー

【委員(9名)】

分野	氏名・団体名	所属
ウクライナ	岡部 芳彦	神戸学院大 教授
	花村カテリーナ	関西看護医療大 助教
創造的復興	越山 健治	関西大 教授
	河田 慈人	県立大 客員研究員
こころのケア	加藤 寛	県こころのケアセンター長
	花村カテリーナ(再掲)	関西看護医療大 助教
学校教育	諏訪 清二	県立大 特任教授
支援団体	JICA関西(木村所長)	
	県国際交流協会(水口理事長) 人と防災未来センター(河田センター長)	

【ゲストスピーカー(6名)】

回	分野	氏名	所属
第1回	ウクライナ	セルギー・コルスンスキー	駐日ウクライナ大使
	創造的復興	五百旗頭 真	ひょうご21C研究機構 理事長
第2回	創造的復興	河田 恵昭	人と防災未来センター長
	こころのケア	神原 咲子	神戸市看護大 教授
第3回	創造的復興(現場)	伊東 正和	久二塚商業協同組合 理事長
	ウクライナ	ナディヤ・ゴラル	神戸学院大 客員教授

※今後、芸術文化等、議論の展開を踏まえ、適宜、ゲストスピーカーを追加する可能性あり。

2 検討会のスケジュール(予定)

- ◆ R5.3.22 「創造的復興」の理念を活かしたウクライナ支援検討会の設置
- ◆ R5年度、全5回開催、年度内に提言を完成
- ◆ 県民向けシンポジウムを開催(R5.12)
- ◆ 2025年大阪・関西万博において、支援の成果を国内外に発信
- ※ 戦況等により予定変更の可能性あり

回	時期	内容
第1回	4月下旬	ウクライナ情勢
第2回	5～6月	創造的復興の経験と課題
第3回	7～8月	基本方針・骨子案
第4回	11～12月	提言案 中間とりまとめ
シンポジウム	12～1月	提言案 中間とりまとめの報告等
第5回	3月	提言案 完成

【問い合わせ先】危機管理部防災支援課防災企画班 電話：078-362-9870（内線5352）

2

【参考】兵庫県の取組

「創造的復興」の理念を活かしたウクライナ支援検討会 第1回現場視察

○第1回検討会において、セルギー・コルスンスキー駐日ウクライナ大使より、ウクライナにおける義肢装具に関するノウハウの不足等の問題提起があったため、今後のウクライナ支援の方向性を探るべく、同大使より紹介のあったAndrey Stavnitser氏（ウクライナ（リビウ）でリハビリのための医療センターを運営）と岡部座長が、県立福祉のまちづくり研究所を視察し、齋藤知事及び陳 同研究所所長と意見交換を行った。

- 1 日時 令和5年4月24日（月）15:30～16:30
- 2 場所 兵庫県立福祉のまちづくり研究所（神戸市西区曙町1070）
- 3 視察者 Andrey Stavnitser Superhuman Clinic 代表
岡部 芳彦 座長
- 4 対応者 齋藤 元彦 知事
陳 隆明 県立福祉のまちづくり研究所 所長
- 5 主な意見



区分	主な意見等
ウクライナ側	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 戦争によりウクライナでは1万～1万2千人が義手・義足を必要としている。 ◆ 義手・義足はどれだけいいものが手に入ったとしても、リハビリに向けた知識や指導できる方々の存在が重要だが、ウクライナでは再建に関わる医師、リハビリに関わる専門家・作業療法士などが非常に少ない。 ◆ そこでオンラインでも対面でもよいので、ウクライナの医師に対して指導して欲しい。
兵庫県側	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教育はドクター単身で行ってもあまり得るものはなく、治療対象となる患者や、ある程度道具がそろってないと難しい。 ◆ 本県では過去にも研修を受け入れてきた実績があるので、ウクライナから来ていただくのがよいのではないかと。今後様々な方策を検討していきたい。

3

【参考】徳島県の取組

徳島県では、古文書修復に必要な紙をロシアから調達することが困難となったウクライナ国立歴史公文書館へ、国の伝統工芸品（和紙9品目）の1つに指定されている「阿波和紙（アワガミファクトリー製品）」を提供することで、ウクライナ文化の保存支援を行った。

今回の支援は、日本の和紙が世界的に修復紙として評価が高く、中でも「阿波和紙」の持つ柔軟性や酸化に対する長期保存性、さらには海外への豊富な出荷実績に着目したウクライナ国立歴史公文書館からの提供依頼を受けて行ったものである。

この取組により、ウクライナ文化の保存に寄与するとともに、本県の文化である「阿波和紙」がさらに世界中に広がることも期待される。

阿波和紙の提供

(1) 手交による提供

令和4年12月21日（水）

在ポーランドウクライナ大使館

阿波和紙400枚（提供する和紙の一部）を手交

オレシア・ステファニク ウクライナ国立歴史公文書館館長、

文化・未来創造課長 他

(2) 輸送による提供

令和5年2月下旬

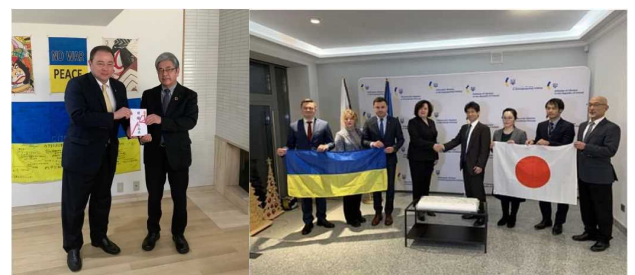
阿波和紙（8,100枚）を在ポーランドウクライナ大使館へ

輸送後、ウクライナ国立歴史公文書館関係者が大使館にて受取



修復を要する古文書

今回提供した阿波和紙



在日ウクライナ大使館にて目録贈呈

在ポーランドウクライナ大使館にて阿波和紙の提供

4

【参考】京都市の取組

姉妹都市 キーウ市支援の取組について



キーウへの寄付金
(令和4年3月～)

皆様からの寄付金は、**9,000万円以上!**

皆様からの寄付金は、以下の2つの支援に役立てられています

京都市では、2022(令和4)年2月24日に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、日常生活に大きな影響が出ている姉妹都市キーウ市を支援するため、市民の皆様にもご協力いただきながら、様々な取組を実施しています。

献花台設置
(令和4年3月～)

市長同士のオンライン会議
(令和4年4月)

1 ロシア軍のミサイル攻撃により破壊された集合住宅の修復

復興支援

皆様からの寄付金約7,200万円を活用

～被災直後～

9階建ての集合住宅は、ロシア軍の攻撃により、1～3階が部分的に破壊、4～5階では火災が発生するなど、大きな被害を受けた

～皆様からの寄付金で修復された建物～

上: キーウ市により修復された建物の外観
右: 修復を喜ぶ住人とクリチコ・キーウ市長

2 キーウ市長から要請があった「防寒対策物資」の提供

物資支援

皆様からの寄付金約1,640万円を活用

キーウ市長からの親書(令和4年12月22日)

寒い冬を乗り切るため、防寒物資を支援して欲しい…

第1次支援: 速やかに調達できた物資を12月27日に発送 (令和5年1月4日 到着)

第2次支援: 皆様のご寄付で、第1次支援の数倍の物資を発送 (令和5年1月30日 到着)

皆様からの寄付金で2,500枚これらの物資を支援できました!

毛布 55,000個
カイロ

笑顔で支援物資を手にするクリチコ・キーウ市長

姉妹都市キーウ市への支援に、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

【参考】大阪市の取組

大阪府は、令和4年3月28日(月曜日)に大阪府会本会議場で行われたセルギー・コルスンスキー駐日ウクライナ大使によるオンラインスピーチの中で、大阪府とドニプロ市によるパートナーシップ関係構築の提案を受け、令和4年7月15日(金曜日)に「友好協力関係構築に関する覚書」(以下、「覚書」という。)を締結しました。

ウクライナ中部に位置するドニプロ市は、避難民受け入れや物資輸送の拠点であり、ドニプロ市から不足している救急車や輸送トラックの提供の要請があったため、覚書第2条に基づき、人道支援の観点から救急車等の本市車両6台を無償提供しました。

提供車両は、令和5年2月25日(土曜日)に大阪港を出港し、近隣国まで海路で輸送後、陸路でウクライナ国境を越え、令和5年4月25日(火曜日)にドニプロ市に無事到着しました。

提供車両はドニプロ市民の方々のためにご活用いただいているほか、ドニプロ市のホームページやSNSにて、大阪市から車両が提供されたことについてドニプロ市民に広く周知が図られています。

提供車両について

車両6台(救急車2台、救助器材車1台、普通貨物自動車3台)

ドニプロ市からのメッセージ

このような素晴らしい車両を提供いただき、我々は大変嬉しく感じています。提供いただいた車両は、ドニプロ市物資受入・社会支援センターにて人・物資の輸送や患者の搬送、復興資機材の運搬などの人道支援活動に活用しており、今後は必要に応じてドニプロ市内各地での支援活動でも活用する予定です。

改めて、この度は本当にありがとうございました。

ドニプロ市で活用されている様子

各府県市のウクライナへの支援内容

R5. 5. 25

団体名	支援内容	各府県市HP等（外部リンク）
滋賀県	○「しがウクライナ避難民応援支援金」による避難民への生活支援金の支給 ○生活相談対応、各種手続補助、就学・就労支援	滋賀県におけるウクライナからの避難民の方への支援 滋賀県ホームページ (shiga.lg.jp)
京都府	○京都府ウクライナ避難民支援義援金による避難民への生活支援金の支給 ○ウクライナ避難民に係る相談窓口の設置 ○大学等を通じたウクライナ人留学生生活支援 ○府庁旧本館のライトアップ ●ウクライナ人道危機救援金の募集（赤十字）	ウクライナ避難民への支援について / 京都府ホームページ (oref.kvoto.jp)
大阪府	○避難民ワンストップ相談窓口の設置 ○避難民への生活支援、住居支援、就労支援、教育支援 ●ウクライナ人道危機救援金の募集（赤十字）	大阪府 / ウクライナからの避難民受入れ支援について / Про підтримку та адаптацію евакуйованих осіб з України (osaka.lg.jp)
兵庫県	●創造的復興の理念を活かした「ウクライナ支援検討会」の設置 ○ふるさと納税を活用した避難民への支援 ○避難民相談窓口の設置 ○公民連携による生活・住居・医療・就労・就学等の支援 ●JICA招聘ウクライナ国緊急復旧・復興プロジェクトにおける行政視察受入	兵庫県 / ひょうごウクライナ支援プロジェクト (hyogo.lg.jp)
奈良県	○ウクライナ避難民ワンストップ相談窓口の設置 ○避難民への生活支援・住宅支援・教育支援・就労支援の実施 ●ウクライナ人道危機義援金の募集（赤十字）	ウクライナからの避難民に関する支援情報 / 奈良県公式ホームページ (oref.nara.jp)
和歌山県	○日本語学習支援（既存の日本語教室を利用） ○県国際交流センターによる生活相談対応（既存の生活相談窓口を利用） ●ウクライナ人道危機義援金の募集（和歌山県国際課）	ウクライナへの支援について 和歌山県 (wakayama.lg.jp)
鳥取県	○避難民受入相談窓口の設置 ○避難民への生活支援金の支給、住宅支援、生活支援、言語支援 ○ふるさと納税型クラウドファンディングの実施 ●ウクライナ人道危機救援金の募集（赤十字）	ウクライナ情勢に関する情報 / とりネット / 鳥取県公式サイト (tottori.lg.jp)
徳島県	○避難民への生活・住宅・教育・就職支援の実施 ○クラウドファンディングを活用した生活費の支援 ○支援ボランティアの登録・マッチング ●ウクライナ人道危機義援金の募集（赤十字） ●ユニセフ協会「ウクライナ緊急募金」に支援金 ●ウクライナ国立歴史公文書館への古文書修復紙（阿波和紙）支援	ウクライナ避難民支援ポータルサイト 徳島県ホームページ (tokushima.lg.jp)
京都市	○ウクライナ・キーウ京都市民ぐるみ受入支援ネットワークによる支援（寄付金、ワンストップ窓口の設置、住宅・就学・就労・日本語教育・コミュニティのサポート） ●キーウ市への寄付金、防寒対策物資支援 ○献花台の設置 ●京都市長とキーウ市長のオンライン会談 ●JICA招聘ウクライナ国緊急復旧・復興プロジェクトにおける行政視察受入	京都市：キーウ・ウクライナ支援関連 (kvoto.lg.jp)
大阪市	○大阪市ウクライナ支援募金 ○避難民に対する支援金 ○ポケットWの支給 ○相談窓口の設置、市営住宅の無償提供、保険料の減免、学校への受入、その他生活支援 ●JICA招聘ウクライナ国緊急復旧・復興プロジェクトにおける行政視察受入	大阪市：ウクライナから本市に避難される方への支援について～大阪市ウクライナ支援募金を受け付けています～（…>国際化・国際交流>お知らせ） (osaka.lg.jp)
	●ドニプロ市への車両の無償提供	大阪市：ウクライナのドニプロ市への車両の無償提供について（…>国際化・国際交流>お知らせ） (osaka.lg.jp)
堺市	○避難民受入相談窓口の設置 ○ふるさと納税を活用した避難民への支援 ○生活支援、保育・就学支援、就労支援、住宅支援、水道料金及び下水道使用料の免除、日本語学習支援 ●ウクライナ人道危機救援金の受付（赤十字）	ウクライナ避難者等への情報 Information for Ukrainian Refugees 堺市 (sakai.lg.jp)
神戸市	●緊急支援金の拠出（国連児童基金に拠出） ○ワンストップ相談窓口の設置 ○就労支援、保育・就学支援、市営住宅の提供、日本語学習支援、通院支援、避難民の心のケア ほか その他生活支援全般 ○神戸市社会福祉協議会による募金（避難民へのICOCAカードの配布等） ○ウクライナIT協会との共催によるウクライナIT産業オンラインビジネスセミナーの実施 ●JICA招聘ウクライナ国緊急復旧・復興プロジェクトにおける行政視察受入（阪神・淡路大震災復興事業等説明） ●神戸市長とリヴィウ市長のオンライン会談（5月23日実施予定）	神戸市：ウクライナからの避難者への支援 (kobe.lg.jp)

○：主に国内の避難民向けの支援

●：主に国外向けの支援